

No.48 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	1,408	508	900	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	72	7	65	5%	1%	7%
II 新生物	266	166	100	19%	33%	11%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	4	3	1	0%	1%	0%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	62	1	61	4%	0%	7%
V 精神及び行動の障害	55	11	44	4%	2%	5%
VI 神経系の疾患	28	8	20	2%	2%	2%
VII 眼及び付属器の疾患	51	4	47	4%	1%	5%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	16	3	13	1%	1%	1%
IX 循環器系の疾患	182	89	93	13%	18%	10%
X 呼吸器系の疾患	125	43	82	9%	8%	9%
X I 消化器系の疾患	137	61	76	10%	12%	8%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	65	2	63	5%	0%	7%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	69	20	49	5%	4%	5%
X IV 尿路性器系の疾患	103	21	82	7%	4%	9%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	26	20	6	2%	4%	1%
X VI 周産期に発生した病態	3	3	—	0%	1%	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	4	1	3	0%	0%	0%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	15	4	11	1%	1%	1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	84	37	47	6%	7%	5%
X X 保健サービスの利用	41	4	37	3%	1%	4%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	236	153	83	17%	30%	9%
II 糖尿病	39	—	39	3%	—	4%
III 虚血性心疾患	26	14	12	2%	3%	1%
IV 脳血管疾患	92	51	41	7%	10%	5%
V 周産期	33	24	9	2%	5%	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.48 病院の患者総数は 1,408 名であり、そのうち入院患者は 508 名、外来患者は 900 名であった。No.48 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 266 名(19%)であった。そのうち、入院患者は 166 名(33%)、外来患者が 100 名(11%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 42 名(3%)、入院患者が 22 名(4%)、外来患者が 20 名(2%)であった。その他には、結腸の悪性新生物、気管、気管支及び肺の悪性新生物、その他の新生物の患者も多かった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 182 名(13%)であった。そのうち、入院患者は 89 名(18%)、外来患者が 93 名(10%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 59 名(4%)、入院患者が 32 名(6%)、外来患者が 27 名(3%)であった。

三番目に患者数が多いのは消化器系の疾患であり、患者総数は 137 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 61 名(12%)、外来患者が 76 名(8%)であった。具体的にはその他の歯及び歯の支持組織の障害の患者が多く、患者総数が 28 名(2%)、入院患者が 2 名(0%)、外来患者が 26 名(3%)であった。

No.49 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	134	118	16	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	6	6	—	4%	5%	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	4	1	3	3%	1%	19%
V 精神及び行動の障害	2	2	—	1%	2%	—
VI 神経系の疾患	13	11	2	10%	9%	13%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	88	80	8	66%	68%	50%
X 呼吸器系の疾患	7	7	—	5%	6%	—
X I 消化器系の疾患	1	1	—	1%	1%	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	10	7	3	7%	6%	19%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3	3	—	2%	3%	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	6	6	—	4%	5%	—
II 糖尿病	3	—	3	2%	—	19%
III 虚血性心疾患	1	—	1	1%	—	6%
IV 脳血管疾患	78	75	3	58%	64%	19%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.49 病院の患者総数は 134 名であり、そのうち入院患者は 118 名、外来患者は 16 名であった。No.49 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 88 名(66%)であった。そのうち、入院患者は 80 名(68%)、外来患者が 8 名(50%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 64 名(48%)、入院患者が 62 名(53%)、外来患者が 2 名(13%)であった。

次に患者数が多いのは神経系の疾患であり、患者総数は 13 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 11 名(9%)、外来患者が 2 名(13%)であった。具体的にはアルツハイマー病の患者が多く、患者総数が 12 名(9%)、入院患者が 10 名(8%)、外来患者が 2 名(13%)であった。

No.50 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	265	101	164	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	17	1	16	6%	1%	10%
II 新生物	8	5	3	3%	5%	2%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	2	1	1	1%	1%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	27	5	22	10%	5%	13%
V 精神及び行動の障害	80	49	31	30%	49%	19%
VI 神経系の疾患	12	6	6	5%	6%	4%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	38	12	26	14%	12%	16%
X 呼吸器系の疾患	5	2	3	2%	2%	2%
X I 消化器系の疾患	20	4	16	8%	4%	10%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	21	5	16	8%	5%	10%
X IV 尿路性器系の疾患	16	1	15	6%	1%	9%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	1	—	1	0%	—	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	5	1	4	2%	1%	2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	13	9	4	5%	9%	2%
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	7	5	2	3%	5%	1%
II 糖尿病	22	4	18	8%	4%	11%
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	22	12	10	8%	12%	6%
V 周産期	1	—	1	0%	—	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.50 病院の患者総数は 265 名であり、そのうち入院患者は 101 名、外来患者は 164 名であった。No.50 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 80 名(30%)であった。そのうち、入院患者は 49 名(49%)、外来患者が 31 名(19%)であった。具体的には統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 40 名(15%)、入院患者が 28 名(28%)、外来患者が 12 名(7%)であった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 38 名(14%)であった。そのうち、入院患者は 12 名(12%)、外来患者が 26 名(16%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 18 名(7%)、入院患者が 11 名(11%)、外来患者が 7 名(4%)であった。

三番目に患者数が多いのは内分泌, 栄養及び代謝疾患であり、患者総数は 27 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 5 名(5%)、外来患者が 22 名(13%)であった。具体的にはインスリン非依存性糖尿病の患者が多く、患者総数が 18 名(7%)、入院患者が 4 名(4%)、外来患者が 14 名(9%)であった。

No.51 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	249	202	47	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	—	—	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	221	177	44	89%	88%	94%
VI 神経系の疾患	27	25	2	11%	12%	4%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	1	—	1	0%	—	2%
X 呼吸器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	—	—	—	—	—	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	—	—	—	—	—	—
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.51 病院の患者総数は 249 名であり、そのうち入院患者は 202 名、外来患者は 47 名であった。No.51 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 221 名(89%)であった。そのうち、入院患者は 177 名(88%)、外来患者が 44 名(94%)であった。具体的には統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 102 名(41%)、入院患者が 87 名(43%)、外来患者が 15 名(32%)であった。その他には、気分[感情]障害(躁うつ病を含む)の患者も多かった。

次に患者数が多いのは神経系の疾患であり、患者総数は 27 名(11%)であった。そのうち、入院患者は 25 名(12%)、外来患者が 2 名(4%)であった。具体的にはアルツハイマー病の患者が多く、入院患者が 25 名(12%)であった。

No.52 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	196	50	146	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	17	2	15	9%	4%	10%
II 新生物	27	7	20	14%	14%	14%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	15	4	11	8%	8%	8%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	2	2	—	1%	4%	—
VII 眼及び付属器の疾患	26	—	26	13%	—	18%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	25	6	19	13%	12%	13%
X 呼吸器系の疾患	12	8	4	6%	16%	3%
X I 消化器系の疾患	22	8	14	11%	16%	10%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2	—	2	1%	—	1%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	2	—	2	1%	—	1%
X IV 尿路性器系の疾患	29	4	25	15%	8%	17%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	1	—	1	1%	—	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	1	—	1%	2%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11	8	3	6%	16%	2%
X X 保健サービスの利用	4	—	4	2%	—	3%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	22	7	15	11%	14%	10%
II 糖尿病	10	1	9	5%	2%	6%
III 虚血性心疾患	4	—	4	2%	—	3%
IV 脳血管疾患	14	5	9	7%	10%	6%
V 周産期	1	—	1	1%	—	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.52 病院の患者総数は 196 名であり、そのうち入院患者は 50 名、外来患者は 146 名であった。No.52 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは尿路性器系の疾患であり、患者総数は 29 名(15%)であった。そのうち、入院患者は 4 名(8%)、外来患者が 25 名(17%)であった。具体的には慢性腎不全の患者が多く、患者総数が 15 名(8%)、入院患者が 1 名(2%)、外来患者が 14 名(10%)であった。

次に患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 27 名(14%)であった。そのうち、入院患者は 7 名(14%)、外来患者が 20 名(14%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 5 名(3%)、入院患者が 2 名(4%)、外来患者が 3 名(2%)であった。

三番目に患者数が多いのは眼及び付属器の疾患であり、外来患者が 26 名(18%)であった。具体的には緑内障および白内障の患者が多く、それぞれ外来患者が 9 名(6%)であった。

No.53 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	389	141	248	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	6	2	4	2%	1%	2%
II 新生物	48	24	24	12%	17%	10%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	2	1	1	1%	1%	0%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	21	2	19	5%	1%	8%
V 精神及び行動の障害	2	2	—	1%	1%	—
VI 神経系の疾患	7	4	3	2%	3%	1%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	75	49	26	19%	35%	10%
X 呼吸器系の疾患	28	15	13	7%	11%	5%
X I 消化器系の疾患	20	6	14	5%	4%	6%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	5	—	5	1%	—	2%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	74	11	63	19%	8%	25%
X IV 尿路性器系の疾患	53	11	42	14%	8%	17%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	7	4	3	2%	3%	1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	16	10	6	4%	7%	2%
X X 保健サービスの利用	25	—	25	6%	—	10%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	42	20	22	11%	14%	9%
II 糖尿病	11	—	11	3%	—	4%
III 虚血性心疾患	2	—	2	1%	—	1%
IV 脳血管疾患	51	45	6	13%	32%	2%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.53 病院の患者総数は 389 名であり、そのうち入院患者は 141 名、外来患者は 248 名であった。No.53 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 75 名(19%)であった。そのうち、入院患者は 49 名(35%)、外来患者が 26 名(10%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 35 名(9%)、入院患者が 29 名(21%)、外来患者が 6 名(2%)であった。

次に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 74 名(19%)であった。そのうち、入院患者は 11 名(8%)、外来患者が 63 名(25%)であった。具体的には脊椎障害(脊椎症を含む)の患者が多く、患者総数が 39 名(10%)、入院患者が 4 名(3%)、外来患者が 35 名(14%)であった。

三番目に患者数が多いのは尿路性器系の疾患であり、患者総数は 53 名(14%)であった。そのうち、入院患者は 11 名(8%)、外来患者が 42 名(17%)であった。具体的には慢性腎不全の患者が多く、患者総数が 43 名(11%)、入院患者が 6 名(4%)、外来患者が 37 名(15%)であった。

No.54 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	1,258	518	740	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	17	6	11	1%	1%	1%
II 新生物	266	132	134	21%	25%	18%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	4	1	3	0%	0%	0%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	59	14	45	5%	3%	6%
V 精神及び行動の障害	11	1	10	1%	0%	1%
VI 神経系の疾患	22	5	17	2%	1%	2%
VII 眼及び付属器の疾患	59	8	51	5%	2%	7%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	11	1	10	1%	0%	1%
IX 循環器系の疾患	137	85	52	11%	16%	7%
X 呼吸器系の疾患	123	51	72	10%	10%	10%
X I 消化器系の疾患	102	59	43	8%	11%	6%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	24	5	19	2%	1%	3%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	75	26	49	6%	5%	7%
X IV 尿路性器系の疾患	133	24	109	11%	5%	15%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	9	8	1	1%	2%	0%
X VI 周産期に発生した病態	12	11	1	1%	2%	0%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	11	2	9	1%	0%	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	46	15	31	4%	3%	4%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	114	64	50	9%	12%	7%
X X 保健サービスの利用	23	—	23	2%	—	3%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	224	122	102	18%	24%	14%
II 糖尿病	35	8	27	3%	2%	4%
III 虚血性心疾患	15	9	6	1%	2%	1%
IV 脳血管疾患	61	46	15	5%	9%	2%
V 周産期	32	21	11	3%	4%	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.54 病院の患者総数は 1,258 名であり、そのうち入院患者は 518 名、外来患者は 740 名であった。No.54 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 266 名(21%)であった。そのうち、入院患者は 132 名(25%)、外来患者が 134 名(18%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 38 名(3%)、入院患者が 16 名(3%)、外来患者が 22 名(3%)であった。その他には、気管、気管支及び肺の悪性新生物、その他の悪性新生物、その他の新生物の患者も多かった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 137 名(11%)であった。そのうち、入院患者は 85 名(16%)、外来患者が 52 名(7%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 45 名(4%)、入院患者が 33 名(6%)、外来患者が 12 名(2%)であった。

三番目に患者数が多いのは尿路性器系の疾患であり、患者総数は 133 名(11%)であった。そのうち、入院患者は 24 名(5%)、外来患者が 109 名(15%)であった。具体的には慢性腎不全の患者が多く、患者総数が 54 名(4%)、入院患者が 6 名(1%)、外来患者が 48 名(6%)であった。

No.55 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	125	114	11	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	1	1	—	1%	1%	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1	—	1	1%	—	9%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	5	4	1	4%	4%	9%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	54	49	5	43%	43%	45%
X 呼吸器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	35	34	1	28%	30%	9%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	2	1	1	2%	1%	9%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	27	25	2	22%	22%	18%
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	1	1	—	1%	1%	—
II 糖尿病	1	—	1	1%	—	9%
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	54	49	5	43%	43%	45%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.55 病院の患者総数は 125 名であり、そのうち入院患者は 114 名、外来患者は 11 名であった。No.55 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 54 名(43%)であった。そのうち、入院患者は 49 名(43%)、外来患者が 5 名(45%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 29 名(23%)、入院患者が 26 名(23%)、外来患者が 3 名(27%)であった。その他には、脳内出血の患者も多かった。

次に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 35 名(28%)であった。そのうち、入院患者は 34 名(30%)、外来患者が 1 名(9%)であった。具体的には軟部組織障害の患者が多く、入院患者が 28 名(25%)であった。

三番目に患者数が多いのは損傷、中毒及びその他の外因の影響であり、患者総数は 27 名(22%)であった。そのうち、入院患者は 25 名(22%)、外来患者が 2 名(18%)であった。具体的には大腿骨の骨折の患者が多く、入院患者が 22 名(19%)であった。

No.56 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	85	17	68	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	3	—	3	4%	—	4%
II 新生物	9	3	6	11%	18%	9%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	4	—	4	5%	—	6%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3	—	3	4%	—	4%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	—	—	—	—	—	—
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X 呼吸器系の疾患	15	—	15	18%	—	22%
X I 消化器系の疾患	1	—	1	1%	—	1%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	4	—	4	5%	—	6%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	6	—	6	7%	—	9%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	17	8	9	20%	47%	13%
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	—	—	—	—	—	—
X X 保健サービスの利用	23	6	17	27%	35%	25%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	7	1	6	8%	6%	9%
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	—	—	—	—	—	—
V 周産期	17	8	9	20%	47%	13%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.56 病院の患者総数は 85 名であり、そのうち入院患者は 17 名、外来患者は 68 名であった。No.56 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは保健サービスの利用であり、患者総数は 23 名(27%)であった。そのうち、入院患者は 6 名(35%)、外来患者が 17 名(25%)であった。具体的には正常妊娠・産じょくの管理の患者が多く、患者総数が 11 名(13%)、入院患者が 6 名(35%)、外来患者が 5 名(7%)であった。

次に患者数が多いのは妊娠、分娩及び産褥であり、患者総数は 17 名(20%)であった。そのうち、入院患者は 8 名(47%)、外来患者が 9 名(13%)であった。具体的にはその他の胎児及び羊膜腔に関連する母体のケア並びに予想される分娩の諸問題の患者が多く、患者総数が 6 名(7%)、入院患者が 3 名(18%)、外来患者が 3 名(4%)であった。その他には、妊娠早期の出血(切迫流産を含む)の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは呼吸器系の疾患であり、外来患者が 15 名(22%)であった。具体的には急性気管支炎の患者が多く、外来患者が 11 名(16%)であった。

No.57 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	153	119	34	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	—	—	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	149	118	31	97%	99%	91%
VI 神経系の疾患	4	1	3	3%	1%	9%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X 呼吸器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	—	—	—	—	—	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	—	—	—	—	—	—
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.57 病院の患者総数は 153 名であり、そのうち入院患者は 119 名、外来患者は 34 名であった。No.57 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 149 名(97%)であった。そのうち、入院患者は 118 名(99%)、外来患者が 31 名(91%)であった。具体的には統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 131 名(86%)、入院患者が 107 名(90%)、外来患者が 24 名(71%)であった。